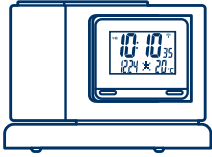


プロジェクション電波クロック

CL-6524
取扱説明書



このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
この取扱説明書をよく読んでから使用してください。
不適切な取扱いは事故につながります。
この取扱説明書は必ず保管してください。



液晶パネルについて

見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなる場合があります。
液晶パネル面に触れないでください。表示が薄くなったり、ムラになることがあります。この場合、しばらく放置しますと元に戻ります。
液晶パネルが破損した場合、ガラス及び中の液晶には十分注意してください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。
〔皮膚に付着した場合〕
付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
〔目に入った場合〕
きれいな水でよく洗い流し、医師の診断を受けてください。
〔飲み込んだ場合〕
水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで、吐き出した後、医師の手当てを受けてください。

お手入れ



乾いたやわらかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤少量をやわらかい布に浸して、よくしぼってふき、そのあと乾いた布でふきとるときれいになります。
シンナー・ベンジン・スプレー式クリーナー類は絶対使わないでください。

安全上のご注意

必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

 浴室など特に湿度が高い場所での使用はさけてください。	 高い場所から落下させないでください。	 殺虫剤やシンナーなどを直接噴霧しないでください。変形や変色することがあります。	 製品の丸ごと水洗いしないでください。
 ほこりの多く発生する所、強い磁気や振動がある所、多量の油分が発生する所では使わないでください。	 やわらかい敷物など不安定な所では使わないでください。	 直射日光のあたる場所や湿度の高い場所では絶対に使わないでください。	 製品を分解しますと、精度や機能が低下したり、故障の原因となりますので、絶対に分解しないでください。
 プロジェクターの光は直接目にあてないでください。			

電波時計について

1.電波時計とは...

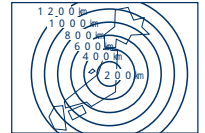
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する機能です。
(内蔵アンテナで電波受信 → 時刻情報を解読 → 時刻、日付を表示)

2.標準電波とは...

通信総合研究所が運営する正しい時刻情報をのせた電波で、福島県田村郡のおおたかどや山にある送信所から40kHzで送信されています。
標準電波の時刻情報はおよそ1万年に1秒の誤差という超高精度を保つ「セシウム原子時計」によるものです。

3.電波受信について...

送信所からの受信範囲の目安は、条件により異なりますが、おおむね1000~1200kmで沖縄を除くほぼ日本全国を網羅しています。



ご注意

九州地区は送信所から離れているため標準電波を受信しにくい場合があります。
天候、置き場所、時計の向き、時間帯、地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。
標準電波は、毎時15分と45分の各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。
電波障害等により、誤った受信をした際に誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できないことがあります。このようなときは、場所を変えてお使いください。
電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。

4.使用場所について...

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受信しやすい窓際などにおいてください。また、電波ノイズを発生させるもの近くのご使用は避けてください。
次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

 ビルの中や地下、ビルの谷間など。	 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。	 テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、フラクシミリ等の家電製品やO機器の近く。
 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など、電波障害の起る所。	 乗り物の中(自動車、電車、飛行機など)	 スチール机等の金属製の家具の上や近く。

電池について

!警告

(アルカリ電池について)

ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
アルカリ性溶液がもれて目に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
万一アルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、目に入ったときはきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

!注意

下記のことを守ってください。電池の使いかたを間違えますと、液もれや破裂などのおそれがあり、機器の故障やけがの原因となります。
+ プラス・マイナスを間違えないように正しく入れてください。
電池を交換するときは、全部の電池を新しい指定の電池と交換してください。
電池に直接ハンダ付けをしないでください。
長い間(2週間以上)お使いにならない場合は、電池をはずしておいてください。液もれ故障の原因となります。



ご使用上のご注意

ツインバード工業株式会社は、この資料並びにコンテンツの著作権を有しています。
この資料並びにコンテンツは、著作権法等の法律で保護されており、お客様はこの資料並びにコンテンツに関し下記に記載されている条件でのみ利用することができます。

- お客様は非営利目的に限り、ダウンロード、使用することができます。
- お客様がダウンロード、使用するときは、この著作権表示及び使用条件と一緒に付す必要があります。
- お客様は、この資料並びにコンテンツを改変したり、頒布、公衆送信、上映等に利用することはできません。

当社及び当社の関係会社は、お客様に対して、この資料並びにコンテンツに関する著作権、特許権、商標権、意匠権及びその他の知的財産権をライセンスするものではありません。ならびに資料並びにコンテンツの内容についてもいかなる保証をするものでもありません。
またこの資料並びにコンテンツ内に別の定めがある場合は、当該著作権表示、使用条件を厳守する必要があります。

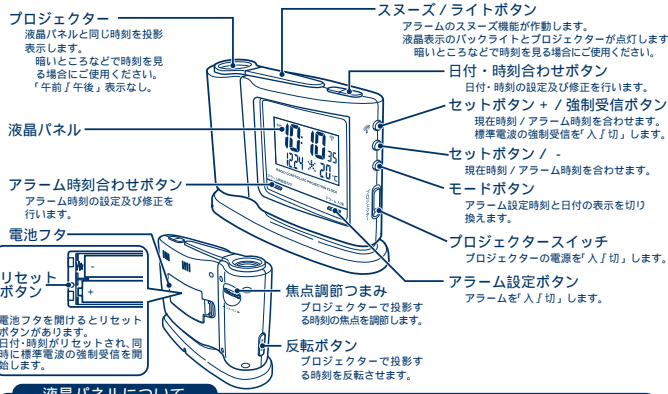
このコンテンツはWeb上で使用を前提とし再編集を加えているため、必ずしも製品添付取扱説明書とは同一ではありません。特にページ順は編集上、入れ替えている場合があります。

この資料並びにコンテンツに保証書は掲載しておりません。

この資料並びにコンテンツに記載されている内容は、それぞれの商品の発売時点のものです。

デザイン、仕様等は商品改良のため予告なく変更する場合があります。

各部の名称とはたらき

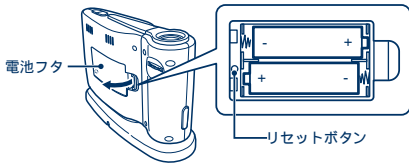


液晶パネルについて



電池の入れかた

単 3 形乾電池 2 本使用 (別売)



1. 本体裏面の電池フタを矢印の方向へ開けます。
 2. 単 3 形乾電池 2 本 (別売) を + - の表示に合わせ正しく入れて、電池フタを閉めます。
- 電池挿入と同時にリセットがはたらき、標準電波の受信を開始します。

リセットボタンについて

初めてお使いになる際や電池交換の際、静電気やボタン操作により誤動作を起こすことがありますが、故障ではありません。その際は電池フタ内のリセットボタンをペンの先端などの細いもので押してください。

ご注意

リセットボタンを押した場合、設定された時刻等はすべてリセットされ、初期状態となります。

時計とカレンダーの合わせかた

1. 電波を受信して自動的に時刻と日付を合わせます。

本製品は電波時計機能を内蔵しています。正確な時刻情報 (年、月、日、時、分、秒) をせた標準電波を受信することにより、正確な時刻を表示することができます。

本体側面の強制受信ボタンを 秒以上押すか、電池フタ内のリセットボタンを押すと、標準電波の受信を開始します。

本製品を使用したい場所に置いてください。窓際などできるだけ受信しやすい場所に置いてください。



受信成功

自動受信および強制受信またはリセット後の受信では、受信開始から約 10 分以内に受信が成功すると、電波受信表示 (電波受信表示) が点灯し、正しい日付と時刻を表示します。

受信成功後、正しく表示されているかをご確認ください。

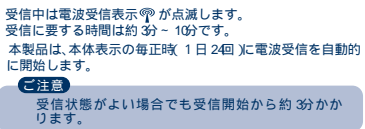
受信できない

自動受信および強制受信またはリセット後の受信では、受信開始から約 10 分間で受信ができない場合、自動的に受信を中止します。その後、電波受信表示 (電波受信表示) が消灯し、受信前の日付と時刻に戻ります。

使用場所の受信状態がよくない場合は、本体の向きや置き場所を変えて、本体側面の強制受信ボタンを 秒以上押し、もう一度受信を開始させてください。

ご注意

次のような場所では受信できない場合があります。
電化製品、O機器のそば (テレビ、パソコン、冷蔵庫など)
高圧線、架線の近く
工事現場、空港の近く、ビルの中や地下、交通量の多いなど電波障害の起きる所。
詳しくは「使用場所について」を参照してください。



ご注意

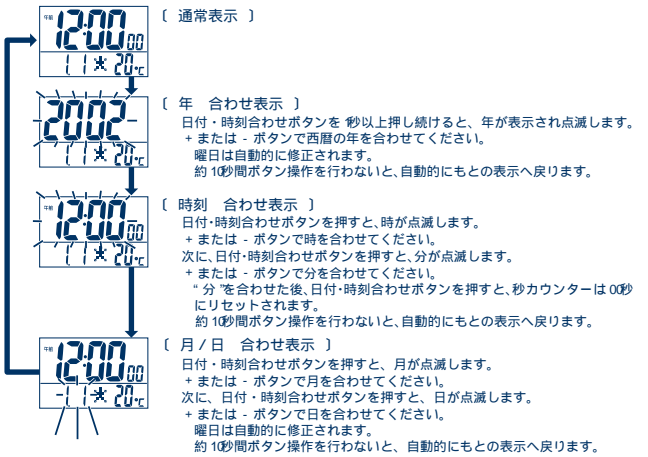
受信状態がよい場合でも受信開始から約 30 分かかります。

2. 手動で時刻と日付を合わせます。

電波の受信状態が良好でない場合は、手動で時刻と日付を合わせることができます。

標準電波受信中 (電波受信表示 (電波受信表示) が点滅) は、日付・時刻合わせボタンを受けつけません。強制受信ボタンを押して標準電波の受信を停止してから時刻合わせを行ってください。

本体上面の日付・時刻合わせボタンを 秒以上押し続けると、日付・時刻の修正状態となり、下図のように順に表示が切り替わります。本体側面のセットボタン + または - を押し、日付・時刻を合わせてください。セットボタン + または - を押しつついている間は早送りします。



時刻と日付合わせが終了したら、日付・時刻合わせボタンを押して「通常表示」に戻してください。

ご注意

時刻合わせが終了したら、必ず「通常表示」にしてください。手動で時刻と日付を合わせた場合でも、自動電波受信機能は働きます。

アラーム時計の使いかた

本製品はアラーム時刻にブザーが鳴ります。

標準電波受信中 (電波受信表示 (電波受信表示) が点滅) は、アラーム時刻合わせボタンを受けつけません。強制受信ボタンを押して標準電波の受信を停止してから時刻合わせを行ってください。

1. アラーム時刻を合わせます。

「通常表示」から、アラーム時刻合わせボタンを 秒以上押し続けると、アラーム時刻が表示されます。アラーム時刻の修正状態となり、時が点滅します。セットボタン + または - を押し、時を合わせてください。

セットボタン + または - を押しつついている間は早送りします。

次に、アラーム時刻合わせボタンを押すと分が点滅します。

セットボタン + または - を押し、分を合わせてください。

セットボタン + または - を押しつついている間は早送りします。



アラーム時刻

ご注意

約 10 秒間、アラーム時刻合わせボタン、セットボタン + または - が押されなかった場合、自動的にアラーム時刻の修正状態が解除されます。

アラーム時刻合わせが終了したら、アラーム時刻合わせボタンを押し「通常表示」に戻してください。自動的に (電波受信表示) が表示され、アラーム設定時刻にブザーが鳴ります。

2. 設定したアラーム時刻を確認します。

「通常表示 (日付表示)」からモードボタンを押すと、アラーム時刻が表示されます。

もう一度モードボタンを押すと、「通常表示 (日付表示)」へ戻ります。

3. 設定した時刻にブザーを鳴らします。



アラーム表示

アラーム設定ボタンを押します。(電波受信表示) が点滅し、アラーム設定時刻にブザーが鳴ります。もう一度アラーム設定ボタンを押すと、(電波受信表示) が消灯し、ブザーは鳴らなくなります。また、ブザーは約 1 分間で自動的に止まります。(オートオフ機能) ブザー音は段階に変化します。

4. アラームを止めます。

いずれかの (スヌーズ/ライトボタン、アラーム設定ボタン以外の) 操作ボタンを押してください。ブザーが止まります。(電波受信表示) が点滅します。

5. もう少し眠っていたいときは (スヌーズ機能)

アラームを止めるときに、本体上部のスヌーズ/ライトボタンを押してください。ブザーの音が一息止まり、その時点から約 5 分後に自動的にアラームが動作します。(スヌーズ機能)



スヌーズ表示

スヌーズ動作中は、スヌーズ表示 (電波受信表示) が点滅します。スヌーズ操作は何回でも繰り返すことができます。

スヌーズの動作中にアラーム設定ボタンを押すとスヌーズが解除され、(電波受信表示) が消灯します。

ご注意

同時にアラーム機能も解除されます。

スヌーズの動作中、オートオフ機能によりブザーが止まった場合は、スヌーズが解除され (電波受信表示) が消灯します。また、翌日も同じ時刻にアラームが鳴ります。

プロジェクター/バックライトの使いかた

暗いところで時刻を見る場合にご使用ください。プロジェクタ - 機能により、暗いお部屋の壁や天井に時刻を映すことができます。12 時間制時刻表示 (「午前/午後」表示なし)。



プロジェクタ - スイッチ

本体側面のプロジェクタ - スイッチを「入」の位置にします。本体上部のスヌーズ/ライトボタンを押すと、プロジェクタが約 1 秒、液晶バックライトが約 30 秒点灯します。プロジェクタ - スイッチが「切」の状態では、液晶バックライトのみが点灯します。スヌーズ/ライトボタンを押しプロジェクタを点灯させ、プロジェクタ - 裏面の焦点調節つまみを回して、投影される時刻の焦点を合わせてください。

ご注意

プロジェクタの投影距離は最大 2m です。

反転ボタンを押すと、映し出す時刻が反転します。もう一度押すと、もとの状態に戻ります。プロジェクタ部は前後に約 180° 可動することができます。お好みの角度に調節してご使用ください。



焦点調節つまみ
反転ボタン



プロジェクタ - 約 180° 回転します。



プロジェクタの反転表示について
正 12:00
逆 00:21

仕様

表 示	12 時間制時刻表示 (「午前」「午後」表示付) カレンダー表示 (月/日/曜日) 温度表示 (0 - 50 までの室内温度を表示)
カ レ ン ダ ー	2002 年 1 月 1 日 - 2069 年 12 月 31 日 (月末、閏年の修正不要)
表 示 精 度	± 秒 (電波受信による時刻修正を行った直後) 月 ± 3 秒 (電波受信による時刻修正を行わない場合)
ア ラ ー ム 機 能	段階に変化する電子音 (1 分間オートオフ) 約 30 分スヌーズ付
バ ッ ク ラ イ ト	LED
プ ロ ジ ェ ク シ ョ ン 機 能	12 時間制時刻の投影表示 (「午前」「午後」表示なし) 投影距離 最大 2m (投影表示反転機能付) 焦点調節機能
使 用 電 池	単 3 形乾電池 2 本 (JIS規格 R6F)
電 池 寿 命	約 年 (アラーム 30 秒/日、バックライト 3 秒/日、プロジェクション 10 秒/日)
電 波 受 信 機 能	受信周波数: 40kHz 自動受信: 毎正時 2 回/日 強制受信: 手動受信
使 用 温 度 範 囲	0 - 40